

# 危機管理！安全・安心の構築は。 新しい交通システムへの対応は。

私は、議員の権利である本会議や委員会での発言を最大限利用して、公約の実現に邁進しております。今回の一般質問では、前回に引き続き市民の安全安心の確保策としての、危機管理対策（危機管理室の設置・AEDの登録制度と設置位置情報の発信施策）、新しい交通システムへの対応について本市の対応を質します。

## ① 危機管理室：形だけで無く実効性が肝心

- (1) 危機管理室の役割と体制について
  - 平成19年12月定例会において提案した危機管理室が設置される。本市の危機管理室の役割をどのように考えているのか。
  - 危機管理監には、他市では、副市長とするところもあるが、本市は局長級としている。本市が危機管理監を局長級とした理由と権限はどうか。また、国から危機管理の専門家の登用や専門性の補完体制についての考えはないのか。
  - 全庁一体的な危機管理の組織体制の構築をどのように考えているのか。
- (2) 自治体業務総統計画（BCP）について  
様々な危機に対応するためには、行動計画の作成と共に、事業総統計画いわゆる自治体BCPが不可欠だ、本市のBCPへの考え方や計画は。
- (3) 地域防災計画の修正等について
  - 計画改定のねらいや作業の進捗状況、パブリックコメントで寄せられた市民意見の反映は。
  - 地域防災計画と個別計画について  
都市防災基本計画の策定や災害廃棄物等処理計画など地域防災計画の個別計画ともいべき計画は、きちんと位置付けていくべきだ。
  - 国民保護計画の改正状況はどうか。

## ② AEDは、どこにあるの？（情報発信）

- (1) AEDの設置状況と拡充策について
  - 本市の公共施設におけるAEDの設置状況や今後の設置計画は。また、設置拡充の補助制度の周知方法、補助対象件数や実績は。
- (2) AED登録制度導入、AEDマップの公開  
民間のAED設置の把握状況は。また、AEDの登録制度の新設による官民のAED設置情報の一元化の考えは。
- (3) 他市では携帯電話GPS機能を利用した携帯モバイル版AEDマップの公開を行っている。現場ですばやく検索できるモバイル情報の整備が必要と考えるが見解は。
- (4) 本市の救急指令センターでは、119番通報の受信時にAEDの使用が必要な場合、最寄りのAED設置場所を案内していると聞いている。どのような情報を提供しているのか。

## ③ 新しい交通システムと南区の交通課題の対策

- (1) 旧市の南部地域の交通課題は、政令市移行後の南区にとっても、一番大きな課題である。今後区民会議においても議論されべきものであることから、政令市へ移行する前までに、地域住民との信頼が回復される必要がある。見解は。
- (2) 麻溝地区新交通システム促進協議会より新しい交通システム早期実現についての要望がある。市長は、「地域の交通課題に対しては、早急な対応が必要であり、他の鉄道駅への結節など、早期に実施が可能な方策や可能性について検討する」と答弁されていた。古淵駅へのルートを開くことが現実的と考えるが見解は。
- (3) 一方で、新しい交通システムを導入する、しないにかかわらず、南部地域の交通課題は、着実にその解決を進めていかなければならない課題。この南部地域の交通課題、具体的には、整備が進まない都市計画道路、交差点改良、歩道整備などにどのように取り組んでいくのか。

**相模原市議会12月定例会  
おおつき和弘一般質問  
12月16日(水)  
午前9時半本会議開会  
当日は、2番目の登壇です。  
市役所本会議場で傍聴をお願いします。**